

# 「現代日本の若者像」

元淮海工学院外国語学部日本語科教員 橋 雄三

## 1. 若者の実態、並びに世代の抱える問題点

政府統計等では15歳～34歳(3,124万人、全人口の約25%)を若者とするものが多い

高校生	350万人	(高校進学率 97.5%)
短大・高専生	26	
大学生(大学院生含む)	286	(大学進学率 52.3%、内7%は短大)
専門学校生	90	
就業者	1960	(ここまでの数字は2006年5月現在)
フリーター、ニート	約400	(この数字は『若者はなぜ「決められない」か』ほか)

フリーター：フリー(free)とアルバイト(Arbeiter ドイツ語)の合成語。勤め先における呼称が「アルバイト」や「パート」である雇用者。就労、不就労、両時期ある。

ニート：若年無業者。“Not in Employment, Education or Training”の頭文字

パラサイト・シングル(資料 参照)：親の脛(すね)をかじっている(parasite)未婚者。その増加は社会問題になっている。20～34歳で約1200万人(同世代人口の約5割)。

## 2. 若者の生きてきた時代および社会的背景

### (1) 人口構成に占める若者世代の位置(資料 参照)

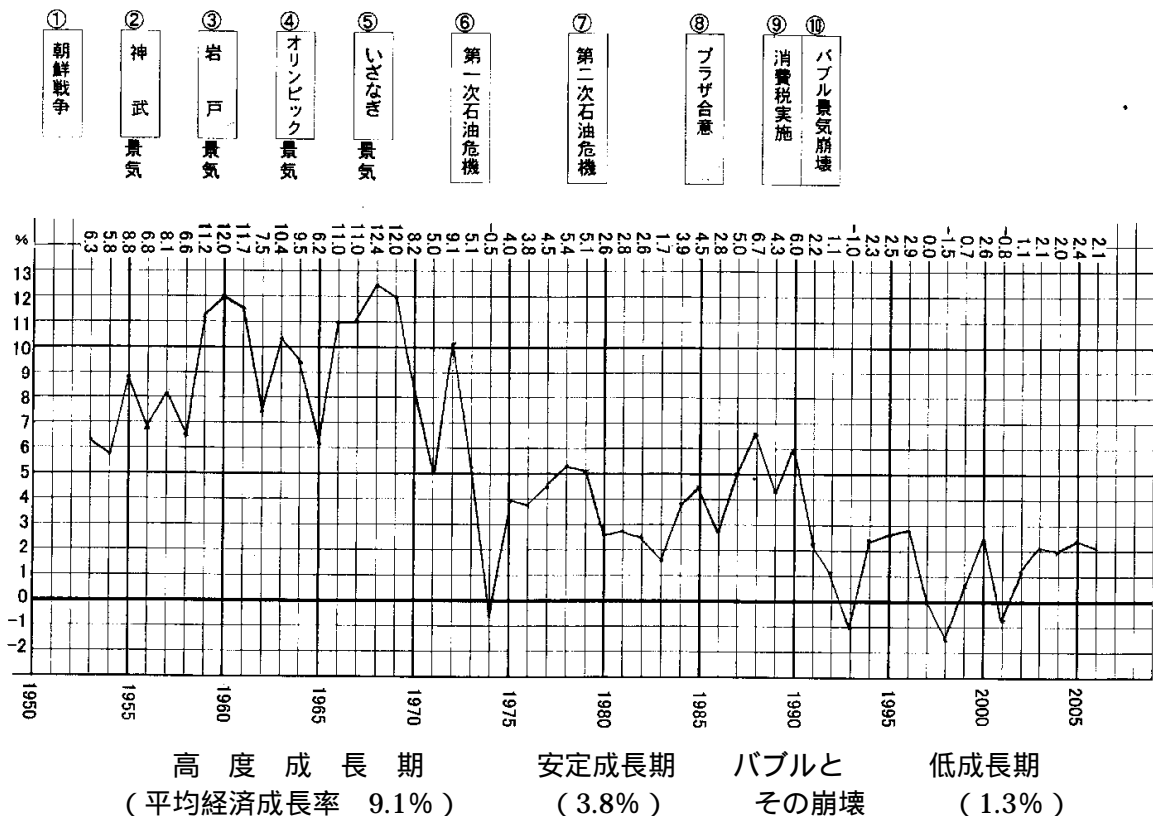
先頭は団塊(だんかい)の世代の子どもたち・・・第二次ベビーブーム

第一次ベビーブーム：団塊の世代

第二次ベビーブーム：団塊ジュニア

### (2) 若者が生きてきた時代 - 日本経済の側面から -

若者の先頭集団の出生は高度経済成長の終焉期(下記の表は戦後経済成長率の推移)



バブル経済：1986年末から91年初までの4年3ヶ月間の好況を指すのが通説。過剰な投機熱による資産価格の高騰によって支えられていた。

若者の先頭集団の就職期はバブル経済が崩壊した低成長の時代  
 採用人数大幅減、正規雇用大幅減、一方、求職者数は大幅増 “就職氷河期”  
 団塊ジュニアは、“ロストジェネレーション”とか“貧乏くじ世代”とかいわれる

それまでの主たる雇用形態	1990年代以降増加する雇用形態
新規学卒一括採用、正規雇用 企業内教育・研修 終身雇用	随時採用、非正規雇用(アルバイト、パートなど) 即戦力 転職、リストラ

ロストジェネレーション：“失われた世代”の意。90年代の就職難の時期に、正社員になれないまま、不安定な生き方を余儀なくされた若者たちを指す。

リストラ：英語のRestructuring(再構築)の略であるが、不採算事業や部署の縮小に伴う「従業員削減」「解雇」の意で使用されることが多い。

### (3) 若者の親たち

若者の先頭集団の親たちの就職期は高度経済成長期の真っ只中

東京オリンピック(1964年)、東海道新幹線開通(1964年)

東北(過疎)/ 中学を出て集団就職 東京(過密)/ 中卒は“金の卵”

“過労死(かろうし)”という言葉まで生まれるほど勤勉に働いた

マイホームを持ち多少の貯金もできた。子の成人後も養育を続ける余裕がある

### (4) 若者を取りまく教育環境

なお根強い知識偏重学歴社会

いい幼稚園 いい小学校 いい中学校 いい高校 いい大学 いい会社

家庭、地域の教育力の低下

・親 / 自分は低学歴で悔しい思いをしたので、子どもは大学へ勉強さえしてくれたら

「・・・しなさい」「・・・してはいけません」と言われないで成長する子どもが増えている。親に子を“躰(しつ)ける”気がない

・地域・近所など / 村落共同体の崩壊 他人の子は見ても見ぬ振り

学校教育 - 個性重視の功罪 -

一方、個性重視の教育 / “わがままも個性の内”といった論まででてくる

依然続く受験教育への対応は私学や塾

生きてゆく力をつけていない

傍若無人(ぼうじゃくぶじん)、堪え性(こらえしょう)がない、社会に出るのが怖い  
 “不登校”も

## 3. 現代日本の若者の諸相

### (1) 自立しない(できない)若者

背景

- ・高学歴社会 / 高校 大学、専門学校 大学院(修士、博士)
- ・不景気、若者に不利な雇用慣行 非正規雇用(不安定、低収入)の拡大
- ・豊かになった社会 / “親の脛(すね)かじり”を子に許す能力と甘さ
- ・知識偏重教育 / 生きてゆく力、たくましさをつけるという点では失敗

オーバードクター：博士の学位を取得しながら定職に就けない人、通常の博士課程在学中に学位取得に到らなかった人、またはそうした形態。余剰博士。

モラトリアム：本来は学生など、大人になるために必要で、社会的にも認められた猶予期間を指すが、例えばニートのように社会的に認められた期間を既に過ぎたにもかかわらず、更に猶予を求める状態を指して用いられることが多い。

結果

パラサイト・シングルが増加

大人と子どものいいとこ取り気楽?

## (2) 若者にとっての就職

### 就活・入社・退社

- ）就職人気企業上位100社（資料 参照）
- ）「学校から実社会へ」の変化に適応できる学生、できない学生
  - ・そのまま実社会に適応できる学生、適応すべく努力している学生
  - ・傍若無人な学生 / 社会人へ変身できる（世渡り上手な）学生、できない学生
    - 「とてもじゃないけど、やってられない」
  - ・就職が怖い・不安な学生 / 続けていける学生、いけない学生
    - 「やっていく自信がない」
- ）“3日3月3年（みっか みつき さんねん）”と“753（しちごさん）”
  - “3日3月3年”：離職の多い時期
  - “753”：学校を卒業し就職をして、3年以内に離職する人の率  
中卒の7割、高卒の5割、大卒の3割

第二新卒：新卒で就職したけれども、短期（通常3年以内）で退職してしまった人を指す。良い印象で受け止められない（敗者復活戦とみられる）ことが多い。

### 産業構造の変化

- ・高度経済成長を経て第3次産業の就業者が増加した。  
1970年 47.4%    2005年 67.8%
- ・特に、外食産業、娯楽・レジャー産業の就業者が急速に増加したが、その職種、雇用形態（勤務割当に自分の都合が言いやすい。自由度が高い）が若者の嗜好、性向に合っていた。これが多量のフリーターを生み出した一つの要因。  
マクドナルド、吉野家などのファーストフード店を中心とした飲食業界  
TSUTAYA などレンタルCD・DVD店、カラオケ店などの情報・サービス業界  
このような業種では skill が身につくということはむずかしい。 “使い捨て”
- ・高卒者の進路調査で、“第一志望はフリーター”という回答も珍しくなかった。

### 弱い就職へのモチベーション

やりたい仕事がある（使命感、国際貢献、自己実現など） 経済的理由（家が貧しい、奨学金返済など） 世間体（せけんてい） 働いて当然・・・なかなかそうはならない

「就職人気企業上位100社」のような企業に就職できる学生は、全体から見ると少ないが、それでも、大半の学生は、それなりの企業に就職し社会人としてやっていっている。

## (3) 若者の結婚観（参考 / 資料）

### パラサイト・シングルは自己増殖する

#### ）親の許にパラサイトする

パラサイト・シングルは生活の満足度、非常に高い 「独身貴族」

#### ）結婚すると生活水準の低下が予想される 「結婚は貧乏の始まり」

#### ）理想的な相手が現れるまで結婚したくない（特に女性）

未婚・晩婚が増える（平均結婚年齢 男 30.0、女 28.2） 少子化

「25ans（ヴァンサンカン）ウエディング」という雑誌があるけれど。



#### ）に戻る（親の許でパラサイトが続く）

女性にとって“理想的な結婚”とは

“理想的な結婚”ならしてもいい / “イケメン（イケてる面（めん）：格好いい男性）”  
というだけでは・・・

女性が望む“理想的な結婚”とは / 家事 + 育児 + 趣味（あるいは趣味の仕事）

このような“理想的な結婚”、“新専業主婦”を可能にしてくれる男性なら結婚してもいい  
その他

若者の性 / ラブホ（love hotel）など

#### (4) 若者文化(参考/資料)

パラサイト消費

持ち物、自分を磨くものにはお金を惜しまない

持ち物 / ブランド物、携帯電話、車

自分を磨くもの / 化粧品(男性も)、エステティック・サロン、プチ整形

サブカルチャーとしての若者文化

携帯電話、i-podなどのICレコーダー、ゲーム機

音楽(J-POPやR&Bなど)、漫画・アニメ、ゲーム、ブログ、ネット掲示板

サブカルチャー(subculture): 文脈によって次の3つの用法がある。1.が本義で、後に2.と3.の意味に用いられるようになった。

1. 社会の支配的な文化から逸脱した文化事象を指す      メインカルチャー

2. 絵画や純文学、クラシック音楽などのハイカルチャーに対し、娯楽を主目的とするマイナーな趣味的文化を指す      ハイカルチャー

3. 漫画、アニメ、ゲーム、特撮作品、フィギュアなど、オタク文化を指す。

J-POP: 日本の大衆娯楽音楽(ポピュラー音楽)の内、総じて比較的若い世代に好まれる楽曲を総称したジャンル名。人気歌手としては宇多田(うただ)ヒカル、倅田来未(こうたくみ)など。

ネット掲示板: Bulletin Board System を略してBBSともいう。ネット掲示板から生まれた物語で、美人でお嬢様なOLとオタク青年(ガンブラと美少女フィギュアを収集している)の純愛を描いた「電車男」はテレビドラマ化され評判になった。

若者ことば

「コーヒーでも飲みませんか?」 / これは日本語・日本人の特質

相手の気持ちの負担を軽くする。断る余地を残す。と同時に断られることによって、自分も傷つきたくない。

若者ことばに見る「あいまい」「ぼかし」表現

断言しては押し付けがましい。強い自己主張は避けたい。自分がよくわからない  
意見対立や仲間外れを嫌い、場の空気を読むのに熱心な若者の智慧か      「ひ弱さ」

「一応・・・」: 「一応、学生やってます」

働きたくないから、何をすればいいかわからないから、アルバイトしながら  
学校にも行っているという意味に捉えられる。

「・・・げ」: もともと、「げ」は「気」で「・・・そう」の意。「悲しげ」

若者ことばとしては、圧倒的に、「よさげ」が多用。

「・・・かも」: 「食べたいかも」「行きたいかも」

「・・・みたい(な)」: 「素晴らしいみたい」(「素晴らしい」をぼかした表現)

(補) その他の若者ことば

強調: 「超・・・」、「め(っ)ちゃ・・・」、「マジ・・・」

情緒的表現: 「きもい」あるいは「きしょい」

短縮・複合: 「エロかわ(いい)」、「イケメン」

アルファベット略語: KY(空気読めない)

#### 4. パラサイト・シングル社会の未来について、相反する二つの見方

政府は、より一層強力的に、若者に対する自立支援策を講じなければならない。それと並行して、企業にあっても、若者に不利となる雇用慣行の改善を進めなければならない。この問題を放置すると、日本の社会は衰退する。

特に対策は講じなくても、寄生できる親は減っていき、パラサイト・シングルはいなくなる。

(参考文献) 山田昌弘『パラサイト・シングルの時代』ちくま新書  
長山靖生『若者はなぜ「決められない」か』ちくま新書  
香山リカ『就職がこわい』講談社  
『平成19年版 青少年白書』内閣府  
ほか

## パラサイト・シングルの時代

## [例1 / 最近の事件から]

今年の3月、24歳の男性が、無差別に通行人8人を殺傷するという悲惨な事件が起きた。この男性は、両親と同居するフリーターで、ゲームや漫画を愛好するオタク的な生活を続けていた。このような息子の生活態度について、父親は、普段から、「仕事(正社員の定職)に就け！」とうるさかったようだ。オタク的な生活態度が犯罪の原因に深く関係しているとか、親の「定職に就け！」に対する“逆切(ぎゃくぎ)れ”が事件に繋がった等々のマスコミ報道もある。

オタク：社会的認知度が低い趣味に傾倒する人。語源としては、彼ら(彼女ら)がアニメ作品などについて会話をすると、「お宅は についてどう思う？」と呼び合ったのが始まりである。“お宅”は、二人称、“あなた”の意。

## [例2 / “名探偵”浅見光彦、33歳] 2008年3月20日付神戸新聞

いまや日本で最も有名な名探偵の一人、浅見光彦。小説やTVドラマで活躍する浅見の生みの親である作家の内田康夫さんが、第十一回日本ミステリー文学大賞を受賞した。「これまで賞には縁がなかった」という内田さんは贈呈式で「こんなに大きな賞をいただけるとは想像もしていなかった。背後にいる大勢の読者に向かって、今後ともよろしく願いますと申し上げたい」と喜びを語った。内田さんは一九三四年、東

作家 内田康夫さん



## 人物点描

第11回日本ミステリー文学大賞を受賞し、喜びを語る内田康夫さん(東京・丸の内)の東京会館

へそくり百五十万円をつぎ込んで本にした」のが、デビュー作「死者の本霊」だ。自費出版の作品だったが新聞で取り上げられ、出版社三社から原稿の依頼が舞い込んだ。それが二十八年前、四十六歳のとき。遅咲きです」

浅見光彦は三作目「後鳥羽伝説殺人事件」で初めて登場した。以来、浅見シリーズは内田さんの作品の中でも特に人気がある作品群となる。三十三歳、独身、二枚目。本業はフリーライターで、主に雑誌「旅と歴史」に紀行文やルポを載せている。兄の陽一郎は警察庁刑事局長。そんな主人公の設定が、百事件を超える旅情ミステリーを支えてきた。

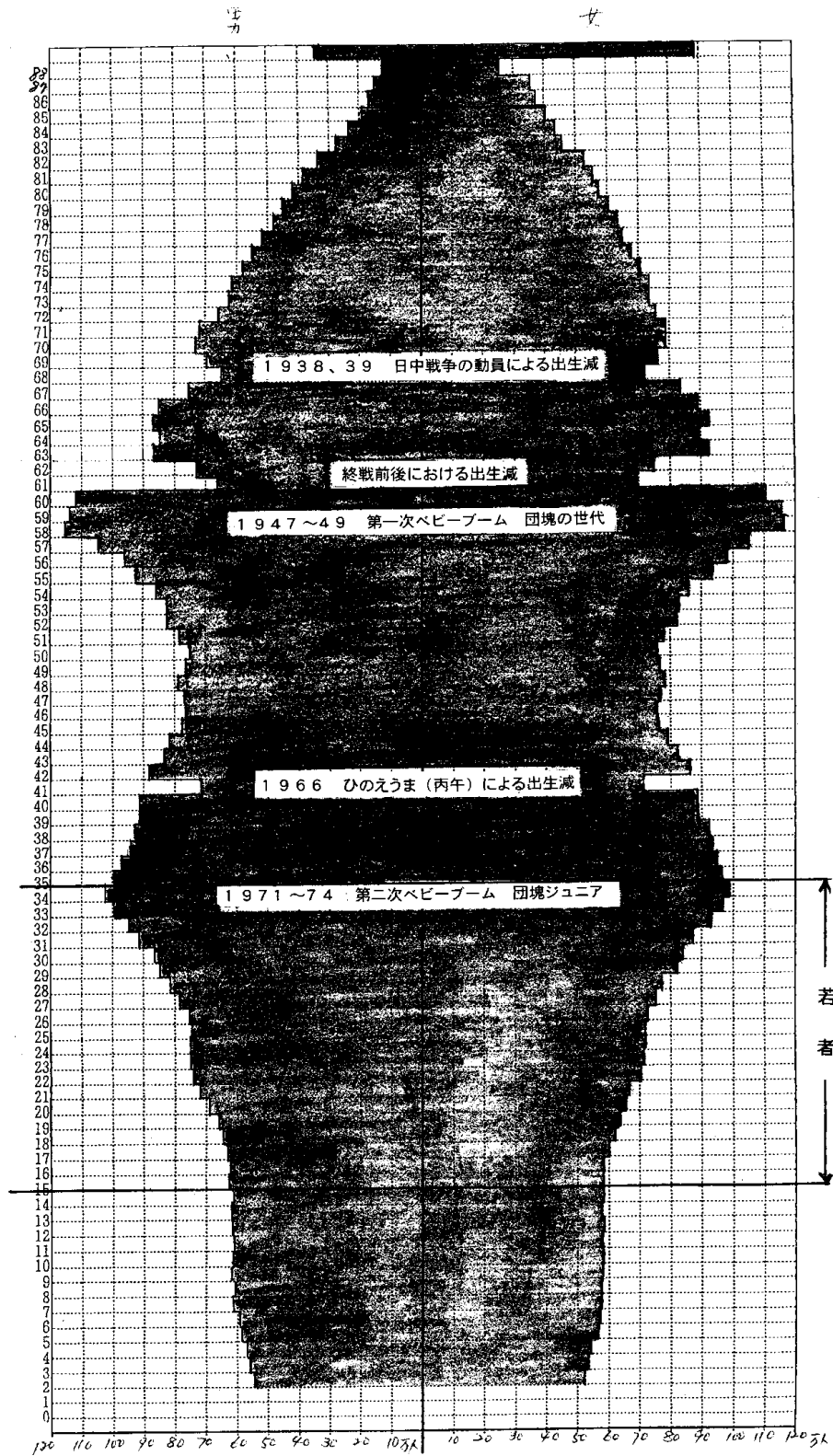
昨春、全作品の総発行部数が一億部を突破した。「これはどうも、えらいことらしいんですね」とひょうひょうと語る。「小説を書くのは面白い仕事。何でも長続きするタイプではないんだけど、小説だけはこつこつ続けてきた」。選考委員の逢坂剛さんは「二億冊を目指してください」とエールを送った。

## [例3 / 私の知人のお嬢さん、32歳]

Sさんは、大学卒業後、貿易関係の会社に就職し、OL(Office Ladyの略。和製英語)10年目である。今の仕事に興味があり、辞めるつもりはない。両親と同居し、家には、家賃・食費として月5万円入れている。年齢も年齢だし、結婚を考えないわけじゃない。友達に誘われ、合コンなどにも参加するが、理想の男性に出会わない。でも、父親がもうすぐ定年なので、いつまでも親のすねかじりはしておれないと思っている。

合コン：主として男女の出会いを求めるために行われるコンパ(仲間と親睦を深めるために行う飲み会のこと。語源は英語のcompany)で、女子の大学進学率が急激に上昇し始める1970、80年代ごろから盛んになり、その後、学生どうしにかぎらず広汎に行われるようになった。

年齢各歳別人口 2007年



(総務省統計局数字を元に筆者作成)

## 就職人気企業ランキング

## 日経人気企業ランキング

2008年	企業名
1	全日本空輸(ANA)
2	三菱東京UFJ銀行
3	トヨタ自動車
4	松下電器産業
5	ソニー
6	シャープ
7	東京海上日動火災保険
8	みずほフィナンシャルグループ
9	サントリー
10	三菱商事
11	三井物産
12	三井住友銀行
13	日立製作所
14	博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
15	JTBグループ
16	伊藤忠商事
16	資生堂
18	電通
19	日本航空(JAL)
20	大和証券グループ本社
21	大日本印刷
22	ベネッセコーポレーション
22	ホンダ
24	キヤノン
25	野村證券
26	富士通
27	東海旅客鉄道
28	東芝
29	住友商事
29	東日本旅客鉄道
31	フジテレビジョン
32	NEC
32	日本アイ・ビー・エム
34	丸紅
35	三菱重工業
36	日本生命保険
37	三菱UFJ信託銀行
38	凸版印刷
39	野村総合研究所
40	バンダイ
41	味の素
42	旭化成グループ
43	集英社
43	損害保険ジャパン
45	講談社
46	日産自動車
47	東京電力
48	リクルート
49	NTTドコモ
49	オリエントランド
49	富士フイルム
52	花王
53	積水ハウス
53	日本放送協会(NHK)
53	任天堂
56	三井住友海上火災保険
57	明治製菓
58	カゴメ
59	第一生命保険
59	東レ
61	住友林業
62	ロッテ
63	関西電力
64	アサツー ディ・ケイ
65	テレビ朝日
66	小学館
66	デンソー
68	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン
69	武田薬品工業
69	日本郵政グループ
71	豊田通商
72	日清食品
73	コクヨ
73	中部電力
75	NTTデータ
75	日本銀行
77	日本郵船
78	大成建設
79	朝日新聞社
79	キリンビール
79	三井不動産
82	西日本旅客鉄道
82	日本テレビ放送網
84	マツダ
85	商船三井
86	鹿島
87	リソなグループ
88	TBS
88	富士重工業
90	キーエンス
90	大和ハウス工業
90	TOTO
90	マイクロソフト
90	森永製菓
95	国際協力機構
95	ゴールドマン・サックス
95	三菱電機
98	KDDI
98	三菱UFJ証券
100	コナミデジタルエンタテインメント
100	日本経済新聞社

■調査対象大学・大学院 北海道・室蘭工業、小樽商科、北見工業、弘前、岩手、東北、秋田、山形、福島、茨城、筑波、宇都宮、群馬、埼玉、千葉、東京、東京外国語、東京農工、東京工業、東京海洋、東京商船、東京水産、電気通信、一橋、横浜国立、総合研究大学院、新潟、長岡技術科学、富山、富山医科薬科、金沢、北陸先端科学技術大学院、福井、山梨、信州、岐阜、静岡、名古屋、名古屋工業、豊橋技術科学、三重、滋賀、京都、京都工芸繊維、大阪、大阪外国語、神戸、奈良先端科学技術大学院、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、九州、九州芸術工科、九州工業、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、琉球、会津、高崎経済、首都大学東京(東京都立、東京都立科学技術)、横浜市立、名古屋市立、大阪市立、大阪府立、神戸市外国語、兵庫県立、神戸商科、姫路工業、北九州市立、東北学院、青山学院、学習院、慶応義塾、工学院、国際基督教、駒澤、芝浦工業、上智、成蹊、成城、専修、中央、東海、東京電機、東京理科、東洋、日本、法政、武蔵工業、明治、明治学院、立教、早稲田、神奈川、愛知工業、南山、名城、京都産業、同志社、立命館、龍谷、大阪工業、関西、近畿、関西学院、甲南、西南学院、福岡

2008.5.6

# 法制審、「18歳成人」本格検討 神戸新聞

## 結婚、選挙：割れる賛否

少年が十八歳の誕生日を迎えたら大人として扱っていいの。政府の法制審議会「民法成年年齢部会」は、民法上の成人年齢を二十歳から二歳引き下げ、法改正の是非をめぐる本格的な検討を始めた。年内に中間取りまとめを公表し、国民的な議論を呼び掛ける。実現すれば結婚や契約、選挙、飲酒、喫煙など生活に大きな影響を与えるだけに、部会委員の賛否が割れ、年内の意見集約は難航する可能性もある。

### ■自己責任

「結婚して子連れで登校することも起こり得る。日の将来を担う人材に早期の社会参加を促すべきだ。」

新成人へのマルチ商法の部会が実質的な議論を開始した四月の第二回会合。ヒアリングに応じた高校教師らの判断は分かれた。民法が改正されれば、高校に十八歳の誕生日を迎えた「成年」と「未成年」がた。

### 意見集約 難航の可能性

## 国民的議論呼び掛け

### ■国際水準

民法の成人年齢引き下げは、他の法律にも影響が及ぶ。例えば競馬法は年齢基準を明示せず「未成年者は馬券を買うことができない」と定めており、民法改正後は条文上十八歳から馬券購入が可能になる。税法士法や大麻取締法など「成年」の文言が含まれる法律条文は約七百に上る。

一方、公選法は二十歳以上選挙権を与え、国民年金法は保険料納付を義務付け、二十歳未満の飲酒、喫煙は法律で禁止され、犯罪を行った二十歳未満には少年法が適用される。民法が改正されれば、これらの年齢基準の見直し議論は避け

世界各国の成人年齢の比較

	成人	結婚男/女	選挙権	飲酒	喫煙
日本	20歳	18/16	20	20	20
米国	18(※1)	18/18	18	21	18
英国	18	16/16	18	18	18
フランス	18	18/18	18	16・18(※2)	18
ドイツ	18	18/18	18	16・18(※3)	18
中国	18	22/20	18	18	18
韓国	20	18/18	19	19(※4)	19(※4)

(※1)45州で18歳、2州で19歳、3州で21歳。(※2)店内で蒸留酒の飲酒は18歳、それ以外は16歳。(※3)ビール・ワインは16歳、蒸留酒は18歳。(※4)19歳になる年の1月1日から

られない。世界の多くの国で成人年齢と選挙権や飲酒、喫煙を認める年齢は一致している。その「国際基準」は十八歳。米国、英国、ドイツ、フランス、中国やインドがそう。二十歳はタイや韓国などごく一部という。

国立国会図書館が調査した百八十九カ国・地域のうち、九割近くは十八歳から選挙権を与えている。公選法を所管する総務省も法制審の議論に注目している。



## 若者文化（補足）

### 1. エステティックサロンの広告



### 2. ストリートダンス



### 3. オタクの部屋



### 4. コスプレイヤー (Cosplayer)



### 5. オタク文化担い手の一人



竹熊健太郎(たけくま・けんたろう)1960年生まれ

いわゆる「おたく第一世代」の一人。81年からフリーで編集、文筆活動に従事。主な活動ジャンルはマンガとアニメーションを中心としたサブカルチャー領域。多摩美術大非常勤講師(03年4月～)、桑沢デザイン研究所講師(06年4月～)を務める。主な作品に「私とハルマゲドン～おたく宗教としてのオウム真理教」「サルでも描けるまんが教室」など。